

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

令和8年度病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第4号（普通期水稻のコブノメイガ）を発表します。

なお、本情報は、病虫害防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



病虫害発生予察 注意報第4号

1 農作物名 普通期水稻

2 病虫害名 コブノメイガ

3 対象地域 県本土

4 発 生 量 多

5 注意報発令の根拠

- （1）巡回調査では、発生面積率が49%（平年17%）と高く、発生程度の高いほ場も認められた（表1）。
- （2）フェロモントラップの6月1日から7月28日の誘殺虫数は、365頭（平年248頭）と平年より多く、6月22日を中心に海外からの飛来と推察される誘殺が多数認められた（図1）。

6 防除対策及び防除上注意すべき事項

- （1）有効積算温度による発蛾最盛日は、6月22日の誘殺（飛来）に由来する第1世代成虫が7月24日頃、第2世代成虫が8月22日頃と予測される（図2）。
- （2）粒剤による防除は発蛾最盛日に、粉剤または液剤による防除は発蛾最盛日の7～10日後に散布する。なお、防除薬剤は表2を参考に選定する。
- （3）止葉を含む上位3葉への被害は、収量・品質に影響するので、第2世代幼虫の防除は重要である。

7 参考データ

表1 コブノメイガの普通期水稻における被害状況（上位2葉被害：7月13日～23日調査）

地域 ^{注1)}	調査 ほ場	程度別発生面積率(%) ^{注2)}					発生面積率(%) ^{注3)}	
		甚	多	中	少	無	本年	平年 ^{注4)}
南 薩	10	0	0	30	70	0	100	32
北薩平坦	20	0	5	15	30	50	50	18
北薩山間	18	0	0	0	33	67	33	20
大 隅	6	0	0	0	50	50	50	10
県全体	54	0	2	9	38	51	49	17

注1) 地域別の調査地点は下記のとおり。なお、1地点につき2ほ場を調査
南 薩：南九州市3地点、いちき串木野市1地点、日置市1地点
北薩平坦：出水市2地点、阿久根市1地点、薩摩川内市3地点、霧島市2地点、姶良市2地点
北薩山間：薩摩川内市1地点、伊佐市4地点、さつま町3地点、湧水町1地点
大 隅：鹿屋市1地点、曾於市2地点

注2) 発生程度基準は下記のとおり。
甚：被害株率91%以上
多： 〃 61～90
中： 〃 31～60
少： 〃 1～30
無： 〃 0

注3) 県全体の発生面積率は、地域の栽培面積を勘案して算出
注4) 平年は、平成28年～令和7年までの10年間の平均値

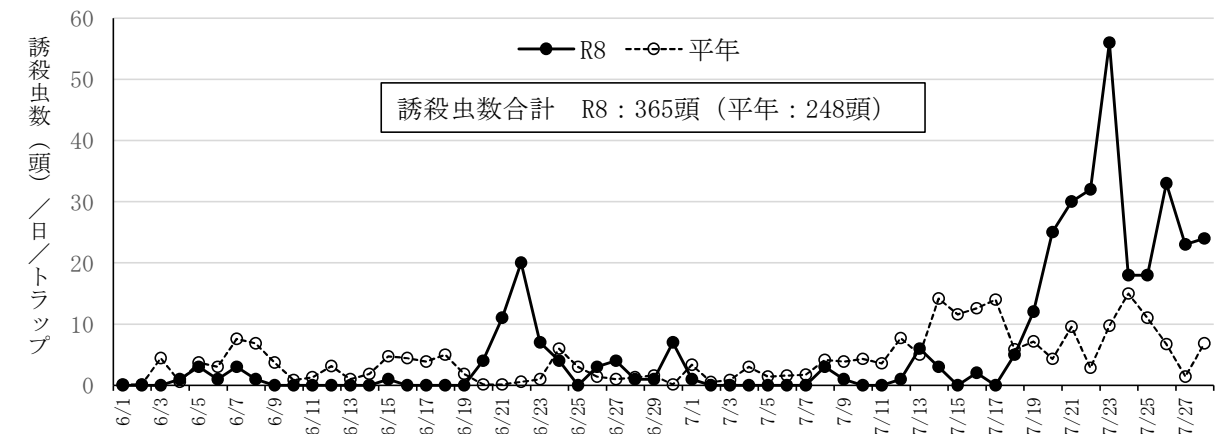


図1 フェロモントラップ（南さつま市金峰町）におけるコブノメイガの誘殺推移（6月1日～7月28日）

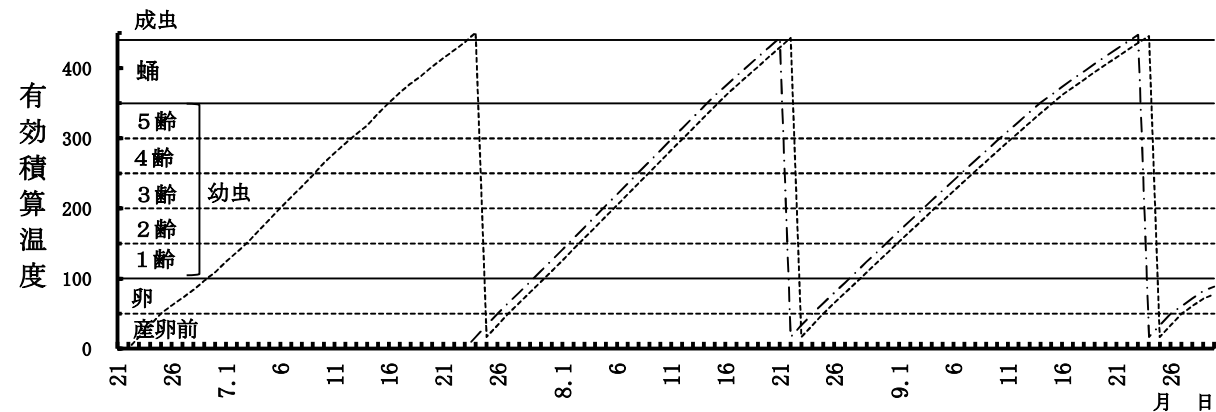


図2 コブノメイガの有効積算温度による発生経過予測図

注1) 気温は加世田のアメダスデータ（7月23日まで実測値、それ以降は平年値）
注2) 起算日は、誘殺の多かった6月22日、7月23日

表2 コブノメイガに対する主な殺虫剤

農 薬 名 ^{注1)}	希釈倍数	使用量	本剤の 使用回数	有効成分の 使用回数
< 地上散布 > 【粒剤】 パダン粒剤 4 【粉剤・液剤】 ディアナ SC トレボン粉剤 DL トレボン乳剤 トレボン EW パダン SG 水溶剤 ロムダンゾル	— 4000～6000 — 1000 1000 1500 1000	3～4 kg/10a 60～150L/10a 3～4 kg/10a 60～150L/10a 60～150L/10a 60～150L/10a 100～150L/10a	6回以内 2回以内 3回以内 3回以内 3回以内 6回以内 2回以内	6回以内 2回以内 3回以内 3回以内 3回以内 6回以内 2回以内
< 無人航空機による散布 > ディアナ SC ロムダンゾル	32～48 8	0.8L/10a 0.8L/10a	2回以内 2回以内	2回以内 2回以内

注1) 殺虫殺菌剤は除く。

注2) 登録内容：令和8年7月29日現在